



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月1日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6809 URL <https://www.toa-global.com/ja>  
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）谷口 方啓  
問合せ先責任者（役職名）経理部長（氏名）吉田 圭吾（TEL）（078）303-5620  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月3日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	22,769	4.0	704	1.6	766	△35.7	139	△81.2
2024年3月期中間期	21,891	7.8	693	—	1,191	161.0	739	17.5

（注）包括利益 2025年3月期中間期 2,434百万円（1.3%） 2024年3月期中間期 2,402百万円（△1.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	4.63	—
2024年3月期中間期	22.98	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	64,871	50,883	74.1
2024年3月期	64,734	49,239	72.0

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 48,088百万円 2024年3月期 46,583百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2025年3月期	—	20.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期配当金の内訳 安定配当40円

2025年3月期配当金（予想）につきましては、2024年5月2日に「2024年3月期決算短信」にて公表したとおり、安定配当40円に業績を加味して、連結配当性向45%を目安に決定いたします。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	6.5	3,700	22.2	3,900	5.1	2,400	20.1	79.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	34,136,635株	2024年3月期	34,136,635株
2025年3月期中間期	4,066,592株	2024年3月期	4,080,281株
2025年3月期中間期	30,060,974株	2024年3月期中間期	32,171,126株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。
- ・当社は、2024年11月26日に機関投資家向け決算説明会（動画ライブ配信）を開催する予定です。なお、決算説明動画および当日使用する決算説明資料は開催後に速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### 経営成績等の概況

#### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く環境は、設備投資意欲の高まりや雇用・所得環境の改善など国内景気は回復傾向が見られるものの、原材料価格の高止まりや物価の上昇、不安定な国際情勢による地政学的リスクに加え、為替相場の急速な変動など、世界経済は先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループでは企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」の実現に向け、2030年を見据えた経営ビジョンとして、「Dr. Sound ——社会の音を良くするプロフェッショナル集団——になる」を掲げております。お客さまに選ばれる良い音体験の継続的提供を通じ、社会課題の特定、解決、改善の一連のサイクルをお客さまと共に実現してゆく頼れるパートナーとして、人々の安心・信頼・感動の価値実現を目指しております。

当中間連結会計期間では、ネットワークカメラシステム「TRIFORAシリーズ」において、PTZカメラを拡充しました。最新の画像センサーの採用による新機能「カラーナイトモード」を搭載し、従来品より暗所での視認性が向上しました。セキュリティレベルの高い施設の防犯用途や、屋外施設における不審者対策への活用など、社会課題の解決を実現いたします。

また、2023年にリニューアルしたコンパクトスピーカーFシリーズに、ハイインピーダンスモデル、ローハイ兼用の防滴モデル、サブウーハーのラインナップを拡充しました。空間に調和するシンプルなデザインとスムーズな施工性を実現し、フラットな音響特性により様々な施設でBGMやアナウンスなどの利用シーンに合わせた空間演出に貢献します。

さらに、創業90周年を迎えた2024年9月には「未来の街に届けるネクストコミュニケーション」をテーマとした内覧会「TOA NEXT COMMUNICATION」を開催し、当社が描いた、デジタル技術により人々や施設がつながる「少し先の未来の街」をコンセプトとし、価値に共感していただくことを通じて、より良い未来社会の実現に向けたアイデアを共創しています。

このような状況の下、当中間連結会計期間における売上高は22,769百万円(前年同期比+878百万円、4.0%増)となりました。利益については、営業費用は増加しましたが、営業利益は704百万円(前年同期比+10百万円、1.6%増)、為替の影響もあり、経常利益は766百万円(前年同期比△425百万円、35.7%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は139百万円(前年同期比△600百万円、81.2%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (日本)

売上高は12,366百万円(前年同期比+553百万円、4.7%増)、セグメント利益(営業利益)は1,922百万円(前年同期比△165百万円、7.9%減)となりました。

道路や鉄道などの交通市場やオフィスビル、教育市場向けの売上が伸長したことなどにより、セグメント全体での売上高は増加しました。売上高は増加しましたが、営業費用の増加によりセグメント利益は減少しました。

#### (アジア・パシフィック)

売上高は5,033百万円(前年同期比+394百万円、8.5%増)、セグメント利益(営業利益)は1,009百万円(前年同期比+191百万円、23.4%増)となりました。

ベトナムでは大型都市開発プロジェクトや官公庁向けの納入が進み売上高は増加しました。インドネシアではスポーツ施設、タイでは鉄道施設や教育市場、商業施設への納入が進みました。為替の影響もあり、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

#### (欧州・中東・アフリカ)

売上高は3,141百万円(前年同期比+22百万円、0.7%増)、セグメント利益(営業利益)は401百万円(前年同期比△3百万円、0.8%減)となりました。

イギリスでは鉄道施設向け、中東では官公庁向け、アフリカではオフィスビルやスポーツ施設向けの納入が進みました。ドイツなど欧州での市況の停滞はありましたが、為替の影響もあり、セグメント全体の売上高は増加しました。売上高は増加しましたが、営業費用の増加によりセグメント利益は減少しました。

(アメリカ)

売上高は1,397百万円(前年同期比+110百万円、8.6%増)、セグメント利益(営業利益)は155百万円(前年同期比+72百万円、86.3%増)となりました。

アメリカでは小売店向け、カナダでは病院向けの納入が進みました。為替の影響もあり、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

(中国・東アジア)

売上高は831百万円(前年同期比△202百万円、19.6%減)、セグメント利益(営業利益)は22百万円(前年同期比△67百万円、75.4%減)となりました。

香港では官公庁向けの納入が進みました。台湾では引き続き半導体を中心とした工場向けの納入が進みましたが、前年同期の納入額が大きかったため売上高は減少しました。中国の不動産不況による販売の伸び悩みもあり、セグメント全体の売上高は減少し、セグメント利益は減少しました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は64,871百万円となり、前連結会計年度末に比べ136百万の増加となりました。資産の部は、売上債権の減少などありましたが、現金及び預金や棚卸資産、投資有価証券の増加などにより増加しました。負債及び純資産の部は、仕入債務の減少や配当金の支払いなどによる利益剰余金の減少、未払法人税等の減少などありましたが、為替換算調整勘定の増加などにより増加しました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動では1,130百万円の資金の増加、投資活動では491百万円の資金の減少、財務活動では1,146百万円の資金の減少となり、これらに加え現金及び現金同等物に係る換算差額により前連結会計年度末と比べ410百万円増加し、14,501百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

仕入債務が854百万円減少したものの、売上債権が1,811百万円減少したことなどにより営業活動による資金の増加は1,130百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

生産設備および情報インフラ基盤などの固定資産の取得による支出349百万円、定期預金の預入および払戻による支出125百万円などにより、投資活動による資金の減少は491百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金600百万円の支払いやファイナンス・リース債務の返済による支出241百万円、短期借入金の減少213百万円などにより、財務活動による資金の減少は1,146百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の業績予想につきましては、「2024年3月期決算短信」にて公表しております当初予想から変更していません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,350	17,096
受取手形、売掛金及び契約資産	10,476	8,970
商品及び製品	8,937	9,301
仕掛品	789	904
原材料及び貯蔵品	5,126	5,270
その他	1,048	1,178
貸倒引当金	△95	△99
流動資産合計	42,633	42,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,933	5,840
その他	4,714	4,721
有形固定資産合計	10,648	10,561
無形固定資産		
投資その他の資産	1,669	1,582
投資有価証券	8,170	8,425
その他	1,614	1,679
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	9,784	10,104
固定資産合計	22,101	22,248
資産合計	64,734	64,871
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,554	2,811
短期借入金	1,836	1,681
未払法人税等	579	276
引当金	271	244
その他	3,336	2,842
流動負債合計	9,578	7,856
固定負債		
退職給付に係る負債	3,089	3,180
その他	2,827	2,950
固定負債合計	5,917	6,131
負債合計	15,495	13,987
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	5,048	5,051
利益剰余金	32,863	32,401
自己株式	△3,679	△3,666
株主資本合計	39,512	39,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,807	4,983
為替換算調整勘定	2,321	4,090
退職給付に係る調整累計額	△58	△52
その他の包括利益累計額合計	7,070	9,022
非支配株主持分	2,655	2,795
純資産合計	49,239	50,883
負債純資産合計	64,734	64,871

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	21,891	22,769
売上原価	12,793	12,997
売上総利益	9,098	9,772
販売費及び一般管理費	8,404	9,067
営業利益	693	704
営業外収益		
受取利息	46	77
受取配当金	64	69
為替差益	343	—
持分法による投資利益	6	—
その他	77	119
営業外収益合計	538	265
営業外費用		
支払利息	31	43
為替差損	—	150
持分法による投資損失	—	1
その他	8	8
営業外費用合計	40	203
経常利益	1,191	766
税金等調整前中間純利益	1,191	766
法人税等	302	453
中間純利益	889	312
非支配株主に帰属する中間純利益	149	173
親会社株主に帰属する中間純利益	739	139

## (中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	889	312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△313	176
為替換算調整勘定	1,825	1,940
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
退職給付に係る調整額	1	5
その他の包括利益合計	1,513	2,122
中間包括利益	2,402	2,434
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,728	2,090
非支配株主に係る中間包括利益	674	344



## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,191	766
減価償却費	777	814
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	99	58
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△53	△65
受取利息及び受取配当金	△110	△146
為替差損益(△は益)	83	△75
持分法による投資損益(△は益)	△6	1
支払利息	31	43
売上債権の増減額(△は増加)	1,395	1,811
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,138	342
仕入債務の増減額(△は減少)	29	△854
未払金の増減額(△は減少)	△107	△363
その他	△201	△742
小計	1,992	1,590
利息及び配当金の受取額	107	138
利息の支払額	△35	△41
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△735	△555
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,328	1,130
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△419	△2,191
定期預金の払戻による収入	1,390	2,066
有形固定資産の取得による支出	△280	△244
無形固定資産の取得による支出	△166	△105
関係会社株式の取得による支出	△400	-
その他	△18	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	105	△491
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,038	△213
自己株式の取得による支出	△0	△0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△243	△241
配当金の支払額	△642	△600
非支配株主への配当金の支払額	△129	△94
その他	△0	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,053	△1,146
現金及び現金同等物に係る換算差額	899	917
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	280	410
現金及び現金同等物の期首残高	14,399	14,091
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,679	14,501

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	中間連結 損益計算 書計上額 (注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,812	4,638	3,119	1,287	1,033	21,891	—	21,891
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,491	67	12	11	10	2,593	△2,593	—
計	14,303	4,706	3,131	1,298	1,044	24,485	△2,593	21,891
セグメント利益	2,087	818	404	83	89	3,483	△2,789	693

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,789百万円には、セグメント間取引消去△31百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,758百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	中間連結 損益計算 書計上額 (注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,366	5,033	3,141	1,397	831	22,769	—	22,769
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,081	64	7	8	21	2,183	△2,183	—
計	14,448	5,097	3,148	1,406	853	24,953	△2,183	22,769
セグメント利益	1,922	1,009	401	155	22	3,511	△2,806	704

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,806百万円には、セグメント間取引消去58百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,864百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。